FUKUI COMPUTER

G-Style Forum
BIM 情報発信イベント

Event REPO G-Style Forum Vol.5

G-Style Forum Vol.5開催

2026年春からのBIM図面審査を見据えて「GLOOBEで変わる！確認申請と現場施工」クリエイティブコンテスト2025 表彰式

2025. 2. 28

日本ERI株式会社　関戸 有里氏
東急建設株式会社　野尻 隆久氏

いよいよ2026年春からBIM図面審査がスタートします。今回5回目となるG-Style Forumのテーマはまさにそ のBIM図面審査を見据えた「確認申請」と施工BIMの普及により注目の集まる「現場施工」ということで、たくさんのお申込みをいただきました。また後半にはクリエイティブコンテストのオンライン表彰式も開催されました。当日配信された3つのセミナーおよびクリエイティブコンテストのオンライン表彰式の模様をレポートします。

セミナー①　知らないと損するBIM確認申請の最新情報と今後の使いこなし方

まずは日本ERI株式会社の関戸有里氏に建築行政手続きのDX、建築確認におけるBIM活用の検討状況についてお話しいただきました。

●建築行政手続きのDX

国土交通省では、建築業界における今後の担い手不足などの課題から、建築行政手続きのDXを進めています。その一環として、電子申請とBIMの活用、リモート検査も一部運用が可能となっています。電子申請の推進では、一般財団法人建築行政情報センター（ICBA）が「電子申請受付システム」を整備し、2025年4月から運用が開始される予定です。さらに、この電子申請受付システムは、将来的にはBIMの建築確認に用いる「確認申請用CDE」と連携する形で環境整備が進められる予定です。

●建築確認におけるBIM活用の状況

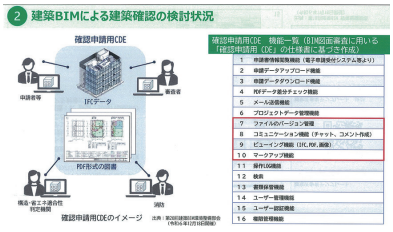
国土交通省は、建築BIM推進会議を設置し、業界全体でのBIM活用を推進しています。建築確認におけるBIM環境整備としては、まず電子申請受付システムを整備したうえで、2026年からBIM図面審査を開始し、さらに2029年以降にはBIMデータ審査の導入が予定されています。BIM図面審査では、従来のPDF図面に加え、BIMデータから出力されたIFCデータを確認申請用CDE（共通データ環境）上で参照できるようになります。これにより、審査側は建物形状の把握が容易となり、また設計者にとってもBIMの特性を活かした整合性の高い申請図書を効率的に作成できるというメリットがあります。こうした整合性が担保された図書を用いることで、一部の審査項目を省略でき、審査時間の短縮も期待されます。さらに、クラウドベースの確認申請用CDEを利用することで、場所を問わず申請・審査が可能となります。現在、BIM図面審査の実施に向けて、「建築確認におけるBIM図面審査ガイドライン」や「入出力基準」、「申請審査用マニュアル」などの運用ツールが整備されています。その先に位置づけられるBIMデータ審査は、IFCデータ自体を審査対象に含める点でBIM図面審査と大きく異なります。BIMデータ審査では、確認申請用CDE上でIFCデータを閲覧しつつ、審査補助機能により機械的に算出された検証結果を活用し、効率的な審査を実現することを目指しています。

福井コンピュータアーキテクト株式会社と日本ERI株式会社では、BIM情報を活用した取り組みの一環として、2021年より「GLOOBE」と確認申請書との情報連携を開始しました。これは、GLOOBE Architectのデータから確認申請書に関する情報を抽出し、日本ERIが提供する確認申請書作成ツールへ取り込むことで、効率的かつ図書との整合性が確保された確認申請書を作成できる仕組みです。

今後は、GLOOBEの機能をさらに活用いただくことで、BIM図面審査への対応に備えていただければと思います。

「知らないと損するBIM確認申請の最新情報と今後の使いこなし方」（セミナー資料より）

日本ERI株式会社
関戸 有里氏



「知らないと損するBIM確認申請の最新情報と今後の使いこなし方」（セミナー資料より）

【G-Style Forum VOL.5】
2026年春からのBIM図面審査を見据えて
「GLOOBEで変わる！確認申請と現場施工」

●開催日時／2025年2月28日（金）13:30～16:00
●開催方式／YouTube LIVE配信
●撮影場所／東京・MONSTER STUDIO乃木坂

●開催メニュー
・セミナー①日本ERI株式会社 BIM推進センター長 関戸有里氏
「知らないと損するBIM確認申請の最新情報と今後の使いこなし方～早くやったら大成功～」
・セミナー②東急建設株式会社 建築事業本部技術統括部 デジタルエンジニアリング部 野尻隆久氏
「シブヤ発！次世代の建設業を支える施工BIMのカタチ」
・セミナー③福井コンピュータアーキテクト株式会社
「BIM確認申請に間に合う！安心してください GLOOBEがついています！」
・クリエイティブコンテスト2025オンライン表彰式

福井コンピュータアーキテクト株式会社

セミナー②次世代の建設業を支える施工BIMのカタチ

次にご登壇いただいたのは、東急建設株式会社の野尻隆久氏です。同社における施工BIMへの取り組みをお話しいただきました。

●部署設立から昨年度までの取り組み

2013年（導入初期）建築BIMの専門部署を設置し、BIMの活動を開始。BIMの機能、活用の可能性を検証する中、渋谷の再開発や大型物流倉庫などの大型案件で一部BIM化に取り組む。BIMに対しては設計図書や施工図の不整合減少、設計意図や施工方法の理解度向上などに期待する声が多く、利益向上や工事の省力化、生産性向上への期待はそれほどでもなかった。

2017年～19年（過渡期）BIM推進グループからBIM推進部へ昇格。BIMのモデルをほぼ全現場を対象に配布し、さらにモデル作成効率化のためのアドオンツール開発。現場向けの教育や会社全体でのBIM研修を開始する。一方、BIMの認知はなかなか進まず、施工現場からは費用対効果への疑問、ソフトの使い方が難しい、BIMの動作環境への不満などの声が上がる。

2020年～23年（成長期）業務の効率化を進める取り組みを本格的に開始。積算連携のシステム開発、維持管理会社と連携しBIMを起点にした業務改善を行う。現場でのBIM活用への期待度は非常に高まるものの、一部の使用にとどまる。複雑で使用が難しいBIMソフトに一因があるとして、2023年下期から、操作が簡単で直感的に動かせるソフトGLOOBE Constructionの検証を始める。当社の施工BIMにおいて最大の課題は現場におけるBIM活用が進まないこと。操作が複雑で現場技術員が操作できないこと、作業環境（PCスペック）の不備、そして活用の方法がわからないことが理由だと思われる。

●2024年度の取り組み

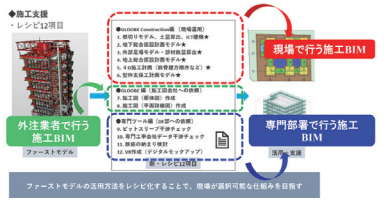
期初に掲げた目標は、1つ目、業務分担によってBIM活用の促進を図ること。2つ目、現場技術員が気軽に取り組めるということ。

まずは業務の分担について、BIM活用の項目を12に絞り1～6が現場で行うもの、7・8が外注業者で行うもの、9～12が専門部署（当部署）で行うものと割り振る。これをレシピ12と呼び、当社の施工BIM支援の標準メニューとしている。

続いてBIM浸透強化について、現場でBIM活用を幅広く現場の技術員の方に知ってもらうことを目的に活用の促進につながるような動画を社内向けに配信している。

●今後の展望と福井コンピュータアーキテクトに期待すること

今後の展望は、現在の取り組みを加速させていくことはもとより、協力業者との連携、デジタルファブリケーションの強化を図っていくこと。労働人口の減少、廃棄物の発生抑制、これらの課題解決に寄与することが目標。最後に福井コンピュータアーキテクトに期待することとして、「Revitそれから専門ソフトなどとの連携強化」データ連携が図れる仕組みを構築していただきたい。施工図作成時間はかなり膨大になるので、「AI化して効率化すること」を目指してほしい。

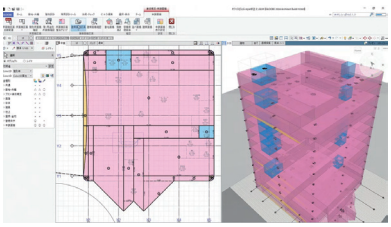


「次世代の建設業を支える施工BIMのカタチ」（セミナー資料より）

東急建設株式会社
野尻 隆久氏

セミナー③BIM確認申請に間に合う！GLOOBE活用術

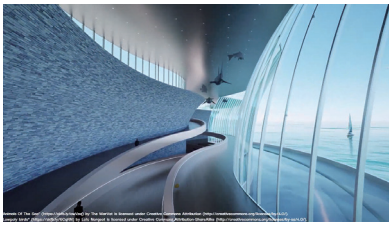
弊社BIM商品開発室の飯島と前田より、先輩後輩の会話風やりとりでわかりやすくGLOOBEの使い方を説明する実演が行われました。地方都市にあるFCA建設の設計部。若手の設計担当前田さんがリーダー飯島さんに相談があるようです。「BIM図面審査に向けてモデルを作れるようになりたいんですけど、どうすればいいんでしょうか…。」「それならGLOOBE使えばいいんじゃない？」そう答えた飯島さんは、実際にその場でGLOOBEを操作しながら、後輩の前田さんに次々と機能を説明していきました。

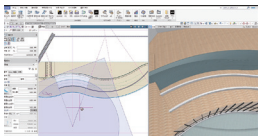

実際に2人が会話しているような流れの中でGLOOBEの操作方法を疑似体験。

クリエイティブコンテスト結果発表

最後に、2024年11月～2025年1月に弊社で開催した「クリエイティブコンテスト2025」の結果発表と表彰式が行われました。GLOOBEで作成した総数52点に及ぶ応募作品の中から厳正なる審査の結果、全12の受賞作品が決定し、クリエイティブ大賞に輝いた冨谷亮介様と冨谷美朝子様からビデオメッセージをいただきました。

「BIMでは四角い建物しか作れないという声をよく聞きます。そんなことはなくて、曲線も作れるということを伝えたくて今回のコンテストに応募しました。作品のテーマは“曲線が活きる建築”です。波の揺らぎをイメージし水族館をテーマに選びました。GLOOBEでの作業風景も動画に盛り込みました。」


クリエイティブ大賞に輝いた冨谷亮介様、冨谷美朝子様の動画作品「海辺の水族館」


GLOOBEでの作業風景も動画に盛り込まれています。

どの作品もGLOOBEを最大限に活かし作りこまれた素晴らしい作品となっています。

受賞作品、全応募作品はクリエイティブコンテストサイトでご覧いただけます。

https://ccon.fukuicompu.co.jp/

福井コンピュータアーキテクトはこれからも皆さまのクリエイティブな活動を応援していきます。

福井コンピュータアーキテクト株式会社
本社／福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6　https://archi.fukuicompu.co.jp
札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・福岡・別府・宮崎・鹿児島・那覇

●導入に関するお電話でのお問合せ・ご相談は
【福井コンピュータグループ総合案内】
ナビダイヤル 0570-039-291
●体験版ダウンロード・資料請求はHPから
福井コンピュータアーキテクト 検索
archi.fukuicompu.co.jp

Copyright ©FUKUICOMPUTERARCHITECT,Inc. All rights reserved.